

授業科目 情報科学

【担当教員名】 本間 久文		対象学年	4	対象学科	情報
		開講時期	前期	必修選択	選択
		単位数	2	時間数	30
【ディプロマポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	○	○			
【概要・一般目標：GI0】 通信に関するシャノンの定理で有名な、クロード・E・シャノンの古典的論文である「The Mathematical Theory of Communication (通信の数学的理論)」を原文で購読し、日本語で翻訳することで、その理解に努める。					
【学習目標・行動目標：SB0】 1. 通信の数学的な知識を身につける。 2. 情報や通信に関する原著論文を英語で購読することで、英語論文に慣れる。					
回数	授業計画・学習の主題			SB0 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	1. 1 通信				
2	1. 2 通信の問題の3レベル				
3	(継続)				
4	1. 3 コメント				
5	2. 1 通信システムとその問題				
6	(継続)				
7	2. 2 情報				
8	(継続)				
9	(継続)				
10	(継続)				
11	2. 3 通信路の容量				
12	2. 4 符号化				
13	(継続)				
14	2. 5 ノイズ				
15	2. 6 連続メッセージ				
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		なし			
参考書					
その他の資料		The Mathematical Theory of クロード・E・シャノン、ワレン・ Communication(通信の数学的理論) ウィーバー		1949	
【評価方法】 ・出席状況(10%)、レポート(90%)により評価する。			【履修上の留意点】		